

# いのちの淵源

えんげん

～山おんな 雪おんな～

手紡ぎ・草木染・手織作品  
むらかみよしこ タペストリー展

土器の胎内は 生命をはぐくむ子宮。  
土器は生命を抱き、生命の文様で祝福する。  
洞窟や堅穴住居のように、  
お母さんのお腹の中の満ちた世界。  
土器胎内からはおまえを育んだ 北の暮らしが鮮やかに溢れてくる。  
山おんな雪おんなのいる日々。

会期 2024年11月1日(金)～2025年2月28日(金)

縄文土器の周縁に張り巡らされた縄文渦の文様は、土器の胎内と外界をつなぐ生命の渦。渦は生と死、過去と未来を行き来し、夢と現をないまぜにして、胎内に入り外界に飛びだし、また内に還ってくる。村上原野の縄文土器の渦文様の内と外の世界、時空を超えてあらゆる境界を自在に行き来する「いのちの淵源」の世界をタペストリーに表現してみようと思った。大地に沁みこんだ記憶、大地と空間には原野の縄文の炎を燃やし続けてきた心意気や気魄が溢れている。この風景と時間が好きだ。シンク口する。同調する。手触りをたしかめ、感触を合わせる。そして憑かれたように織る。循環する生と死と再生の精神世界を表現する縄文渦、そこに確かに刻まれている生命と魂の風景。遠い未来に遙かな地平で、発掘される縄文渦に象られたものたちに思いをさせ、それまで世界中のすべての生命を抱く母なる大地と共にありたいと、いつも切に願っている。

—作品「いのちの淵源～山おんな・雪おんな～」 手紡ぎ・草木染・手織作品250×265cm)

【開館時間】 午前9:30～午後5:00  
【休館日】 月曜(祝日は開館し翌日休館)  
月・火曜日(祝日の場合は開館)  
※冬期12～2月  
【観覧料】 一般400円／高校生200円  
【アクセス】 賀陽ICから車で約45分  
新見ICから車で約30分  
井倉駅からタクシーで約15分  
方谷駅からタクシーで約10分

猪風来美術館  
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609  
TEL・FAX 0867-75-2444  
<http://www.ifurai.jp/>

日本唯一の現代縄文美術館。  
縄文造形家・猪風来と村上原野  
の縄文野焼き作品など代表作を  
200点以上常設展示。生命と魂の  
デザイン～縄文スパイラルアート  
を現在直下で展覧しています。

